

発 言 通 告 書 <総括表>

平成17年 第4回 定例会 一般質問

1	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
	小枝議員	1、ひとり親世帯への支援事業について 2、建築物の「絶対高さ制限」導入を含むメリハリのある街並みづくりについて	・「病時一時保育」の実施 ・職業訓練の経済的支援 ・夜間・休日就業時の人的支援 ・基礎的データの整理と実態調査 ・建築許可事務のあり方 ・行政の監視役割の実態 ・都市計画マスタープランおよび景観形成マスタープランの考え方にに基づき、高度地区による「絶対高さ制限」の設定を行うことについて ・景観緑三法に基づく景観行政団体の申請と「景観地区」による景観規制の検討状況 ・その他	区長、関係理事者
	木村議員	公立図書館について 成績主義の導入及び青年雇用の改善に向けた区のとりくみについて 大手町合同庁舎跡地の再開発計画について	ー 区立図書館への指定管理者制度の導入や新千代田図書館基本計画案、図書館行政についての問題をとりあげ、図書館法、地方教育行政法、図書館の自由に関する宣言などにてらし、いくつかの提案を行う。 ー 成績主義という人事評価システムを導入した民間企業の中には、失敗した実例が少なくない。あえて千代田区で導入し、さらに徹底する目的は何か。又、自治体になじむシステムなのか。 ー 青年の雇用問題を改善させる一環として、都の作成した「ポケット労働法」の活用を求める。 都市再生特別地区は都市計画制度そのものをこわすことにならないか	区長、教育長、関係理事者
	嶋崎議員	区の文化財に関する支援対策・保存活用の政策について	1、千代田区は、様々な文化財・文化遺産の宝庫であるが、埋もれたままの文化財の発見と保存・活用策がさらに必要ではないか。 2、文化財保護条例に基づき、文化財保護調査員が置かれているが、区内各地域から委員が出ているというそれぞれの地域の特徴を生かし文化財等の活動のため役立てることはできないか。 3、文化財等は、区民個人や企業が所有しており、その負担は小さくないが、それを発展拡充していく考えはあるのか 4、文化財活用の他都市との連携について	区長並び関係理事者
	大串議員	1、区として疾病予防・健康増進に取り組む基本的な考え方は。 2、具体策として 健診と保健指導にどう取り組むのか。 肺炎球菌ワクチン接種に対して公費助成を提案するが、所見は。	来年予定されている医療制度改革の中心は「予防の重視」である。予防ということでは自治体の果たす役割はますます重要となっている。そこで区長に疾病予防・健康増進に取り組む基本的な考え方を問う。 具体策として健診と保健指導は特に大事だが、一連のサービスとして体系化し、実のあるものにしていかなくてはならない。区としてどう取り組むのか。 高齢者がインフルエンザにかかると4人に1人が肺炎に進むという。高齢者に対してインフルエンザワクチンの接種が行われているが、肺炎球菌ワクチンを併用することでより効果も増す。そこで肺炎球菌ワクチン接種の公費助成を提案するが、所見は。	区長並びに関係理事者
	鈴木議員	マンションなどをめぐる構造計算書(耐震強度)の偽造事件の問題について	1998年の建築基準法「改正」で、これまで自治体の建築主事が行っていた建築確認・検査を民間に「開放」したことによる事件、民間に任せればうまくいくという考え方が破綻し、命を脅かす事態を生んだ。今回の事件について区長の見解を問う 千代田区の実態についてはどのように把握しているか、区内マンションなどの建築物の安全は確保できるのか 今後の自治体の責務と果たす役割をどのように考えるか 今年6月、最高裁が「検査機関による建築確認事項は自治体事務」と判断し、行政にも賠償責任があるとした判決があるが、どのように考えるか区長の見解を問う。	区長ならびに関係理事者
	河合議員	電子自治体推進に向けて、千代田区におけるLGWAN（ローカル・ガバメント・ワイド・エリア・ネットワーク）総合行政ネットワークの現状と将来像・考え方を千代田区に問う。	電子自治体は明確なプロトタイプや見本、お手本があるわけではありません。従って、自治体の取り組みは、自治体間で大きな差が見られるのが現状です 全国統一のユニバーサルサービス 東京都の電子自治体共同運営協議会のサービス 千代田区独自のサービス 3つの領域によるサービスの整合性 情報化施策の最優先で取り組むサービスとは？ 総務省によるSNS実験に 本区と長岡市が選ばれたが、長岡市との情報の共有化をどう担保するのか？ 費用対効果をどう考えるのか？ 今、企業で問題になっている開発コストを ー自治体の千代田区としての役割とは？ ユビキタス社会構築に向け、電子自治体の基本的な考え方として、行政内部や行政と国民・区民・事業者との接点をオンライン化し、行政の簡素化・効率化と国、地方公共団体が提供するすべてのサービスを時間的・地理的な制約なく活用することを可能とすることだと考えます。 快適・便利な区民生活や産業活動を実現するために千代田区のLGWAN・ICTの基本的な考え方・将来像を明確にしていく。	区長及び担当理事者